

## (1) 目的

岩手県内の企業、各種団体等のデジタルトランスフォーメーションにつながる取組事例を広く募集し、優良事例を表彰するとともに、その事例を広く紹介することによりデジタル化に関する取組の更なる普及を図り、もって本県のDX推進に寄与することを目的とする。

## (2) 募集対象

岩手県内で事業活動を行う企業、法人及び団体並びに各自治体

## (3) 募集分野

- ・デジタル技術を活用し効率化や課題解決等に資した取組
- ・令和4年9月までに実施し、各産業や行政及び地域活動等において成果が出ている取組

## (4) 募集期間

令和4年10月1日～令和4年10月31日

## (5) 審査

DXに関する有識者で構成する選考委員会において、下記の基準に基づき審査を行い、表彰対象を決定

- ① 取組による効果
- ② 創意工夫や先進性
- ③ 他事業等への波及の可能性や地域活性化への期待



(6) 応募一覧 (全10件)

※団体名50音順

	応募団体〔取組名称〕	取組の概要
1	一般社団法人岩手県建設業協会(盛岡市) 〔広い県土に所在する会員企業の情報共有とICT促進のための イントラネット運用〕	全会員を結んだイントラネットの活用による、文書・スケジュール 等の共有や、web会議・webセミナーの開催
2	一般社団法人トナリノ(陸前高田市) 〔「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を実現する住民 参加型のスマートフォン出張講座〕	高齢者のデジタルデバインド解消を目的とした、住民参加型のス マートフォン出張講座開催及び講師・支援員の育成
3	医療法人仁泉会 介護老人保健施設ほほえみの里(宮古市) 〔見守り業務の効率化による職員の負担軽減〕	入居者の睡眠状況リアルタイム把握による夜間巡回職員の休憩 確保及び睡眠状況のグラフ化による引継ぎの効率化
4	岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社(滝沢市) 〔保育所等運営費の給付請求手続きプラットフォームの構築による、 自治体職員等のワークライフバランス向上事業〕	保育所等運営費の給付請求手続きプラットフォームの構築による、 保育所・自治体職員等の作業時間軽減
5	AP TECH 株式会社(八幡平市) 〔八幡平市メディテックバレープロジェクト〕	スマートウォッチの活用による、地域高齢者の見守り
6	株式会社菊池技研コンサルタント(大船渡市) 〔RPA等を活用した定型業務の効率化・自動化の実現〕	組織横断・内製化による低コストでの、RPA等を活用した定型業 務の効率化・自動化
7	株式会社吉田測量設計(盛岡市) 〔七転び八起きのRPAロボットによるデータドリブン経営へのチャレンジ〕	データドリブン経営を目指した、業務の見える化及びRPA自動化 によるコスト削減・業務変革
8	北上市(北上市) 〔北上市保育園DXが起こす、自治体変革の波〕	保育園、保護者間における登降園台帳や園からのお便りデジタ ル化による、連絡業務の効率化・職員の意識変革
9	大和造園土木株式会社(花巻市) 〔農業・観光業におけるデジタル技術活用の取り組みについて 陸前高田市『だいわフルーツパーク気仙』〕	だいわフルーツパーク気仙におけるビニールハウス管理の完全 自動化・草刈り作業のロボット化等による作業人員の省力化
10	レビガータ株式会社(盛岡市) 〔医療向けインフォメーションシステム〕	医療向け受付システムの提供による、待合室混雑解消及び受付 スタッフの業務軽減



【『いわてDX大賞 2022』受賞団体の取組概要、成果、評価のポイント】

1 大賞

北上市（北上市保育園DXが起こす、自治体変革の波）

取組概要	北上市療育センターと公立保育園6園における登降園記録や保護者との連絡帳等について、コロナ対策の観点で専用アプリによる非接触の連絡システムの導入。
取組成果	<p><b>【直接的な成果】</b> 朝の欠席連絡で電話が不要になったことで保護者は早朝から架電や話中で待つ必要はなくなった。職員は欠席連絡を受けるために朝電話当番が不要になり、クラス担任への連絡業務も無くなった。 保育記録として、タブレットで撮影した写真をお便りや記録用に使うことが可能になり、白黒コピーだった配布物が、スマホで見やすい縦型のPDFになるとともに、写真添付やカラー化されて保護者向けのサービス品質が向上した。</p> <p><b>【間接的な成果】</b> 職員に「紙・電話からデジタルへ」という意識変革をもたらし、大量の印刷や紙配布をデジタルデータでの配布に次々移行し、センター及び6園で数千枚/月の紙・コピー作業の削減に成功した。 市の他部門にペーパーレス推進などの模範として影響を及ぼし始めており、この取組が北上市の自治体変革に影響を与えている。</p>
評価ポイント	単なるデジタル化・ペーパーレスの取組ではなく、保育士と保護者の意識変革、ひいては北上市役所他部署への変革の波及効果が選考委員にて高評価だったもの。



2 優秀賞

(1) 株式会社菊池技研コンサルタント

(RPA等を活用した定型業務の効率化・自動化の実現)

取組概要	新規ソフトウェアや外部委託によらず、内製により「①入札公告のダウンロード及び整理」、「②原価情報と勤怠情報の整合性チェック」及び「③消耗品在庫確認」の自動化を実施。
取組成果	①～③の年間作業日数合計は取組前が約84.0日であったが、取組後には約13.5日まで削減した（削減率83.9%）。
評価ポイント	内製でのデジタル化の取組や、コストパフォーマンス、他社での参考のしやすさが、選考委員にて高評価だったもの。

(2) 大和造園土木株式会社

(農業・観光業におけるデジタル技術活用の取組について)

取組概要	「だいわフルーツパーク気仙」における、ビニールハウス・草刈作業ロボットのIoT化等による作業員等の省力化
取組成果	当該施設の南国フルーツを無農薬栽培するビニールハウスでは、コンピュータ制御による灌水（水やり）・温度・湿度・CO <sub>2</sub> 濃度管理の完全自動化を実現し、常駐の管理者を不要とした。 また、ブルーベリー園やドッグランの草刈り作業にロボットを導入し、閉園後の夜間に自動草刈りを行うことにより、作業員を削減したほか、芝の品質の均一化につながった。
評価ポイント	1次産業での取組やデジタルによる作業員の省力化が選考委員にて高評価だったもの

3 県民賞

一般社団法人トナリノ

（「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を実現する住民参加型のスマートフォン出張講座）

取組概要	高齢者のデジタルデバイド解消を目的とした、住民参加型の「スマートフォン出張講座」と「講師及び支援員の育成」
取組成果	これまでに講座を191回実施、2,360人に受講いただき、95%が「操作技術が向上した」とアンケートで回答した。 支援員育成についても16人に研修を行い、支援員として100回以上講座や相談会に派遣した。
評価ポイント	デジタルデバイド対策の対応が他の取組と一線を画しており、選考委員から特別表彰の推薦があり、選考委員会で表彰することで合意したもの。